

新緑の集い

4月29日（月・祝）

ステージやゲームを楽しむ



大学生によるジャグリング・ショー



ぬいぐるみ回しゲーム

ほのぼの通信

社会福祉法人まりも会

清瀬療護園

広報紙

第63号

〒204-0023

清瀬市竹丘3-1-72

清瀬療護園

TEL: 042-493-3235

Fax: 042-493-3234

発行：地域福祉委員会（広報部門）

新施設へ移転してから第2回目となる「新緑の集い」が、4月29日に園内の広場でありました。晴天の中、中野施設長のあいさつで会は始まり、総勢25名にもなる「清瀬高校ダンス部」によるダンス・ショー、利用者も全員参加した「ぬいぐるみ回しリレー」と続きました。休憩タイムでは清瀬療護園特製の手作りケーキをみんなで食べ、続いて「職員バンドの演奏」「東京農工大学ジャグリング・サークル『@Jag』」によるジャグリング・ショーがありました。橋本副施設長の閉会のあいさつで幕を閉じました。会が終わってから、集合写真を撮りました。

中野施設長の開会の挨拶



プログラムの説明をする実行委員



みんなで集合写真！



職員バンドの演奏

5月11日(土)

フラワー・フレーム作り

地域交流イベント「フラワー・フレーム作り」が園内2階の活動室でありました。地域の方や小学生(保育園児)が来園され、参加した3名の利用者の方と一緒に「フラワー・フレーム」を作りました。



まずはお花を作るところから…!



5月28日(火)

春の小祭り

地域のシニアクラブ「竹水会」「白梅会」「竹寿会」と「清瀬療護園」が主催する「春の小祭り」が5月28日(火)に広場でありました。午前11時すぎ、曇り空の中、清高連の久世清美会長のあいさつ、清瀬療護園の中野施設長のあいさつ、清瀬市の渋谷金太郎市長のあいさつがあり、そのあと、様々な演目を皆で楽しみました。

渋谷清瀬市長による「花笠踊り」、歌やフラダンスのショー、南京玉すだれのショーなどがありました。午後は、通所利用者の二澤さんによるポッチャのデモンストレーションの後、二澤さんと会場内からの参加希望者との「ポッチャ対決」もあり、大いに盛りあげられました。最後



にカラオケ大会があり、皆さん、懐かしい歌を思い思いに歌っていました。

5月29日(水)

多摩六都科学館へ

1日外出企画で「多摩六都科学館」に行きました。午前中は展示コーナーを見て回り、午後はプラネタリウム(星座)を观看了。お昼ご飯は、園から持ってきたお弁当をみんなで食べました。



ベトナムから外国人 技能実習生が来ます

今年度より外国人技能実習生を受け入れることになりました。外国人技能実習制度とは、一定期間、発展途上国の若者を日本の会社で受け入れて、技術や知識を習得してもらい、日本の技術が途上国の発展に寄与することを目的としています。実習生が母国に戻り、経済や福祉の発展の担い手となることを期待して、国際協力や国際貢献のもとに作られた制度です。

実習期間は最長5年間です。1年目と3年目に試験があり、合格できなければ帰国となります。このように単なる労働力としてではなく、技術の習得のために厳しい内容になっています。

昨年10月にベトナムの首都ハノイで実習希望者と面接し、2名の受け入れを決定いたしました。来日は11月上旬の予定で、只今、受け入れ準備を行っています。詳細が決まりましたら、またこの広報紙でお知らせいたします。

清瀬療護園祭り開催 のお知らせ

日程 令和元年9月16日(月祝)
時間 11:15～15:00

(10:30～11:15は利用者・関係者
・ご家族のみ参加できる時間です)

会場：清瀬療護園内

令和元年の清瀬療護園祭りは、定番のカレーライス、焼きそば、かき氷、綿あめをはじめ、昨年に好評だった景品付きゲームや抽選会、またバルーンアートも行う予定です。その他、近隣の福祉施設の方々が多数出店する予定です。

より一層地域との交流を深め、盛大なお祭りにしたいと思っています。皆様ぜひお越しください。



昨年の清瀬療護園祭りの様子

清瀬産野菜 直売のお知らせ

療護園玄関前にて、清瀬の農家の皆さん(清瀬旬菜花倶楽部)による「清瀬産の旬の新鮮野菜」の直売を左記の通り実施しています。皆さん、ぜひご利用ください。

直売日時：毎週水曜日

9時30分～12時30分

※季節、天候により営業時間の変更や中止がありますのでご了承ください。



【ポスター作り～あじさいと虹～】
日中活動室で立体ポスターを創作しました。お花紙であじさいを作り、水色の画用紙で雨を作り貼り、虹を水性塗料ペンで描き作成しました。出来た作品は、日中活動室のカウンターに貼りました。



想い出

栗原勝雄

(所沢市民生委員)

「分かれ!」

午前8時40分、消防の仕事を終え、清瀬市内のアパートに住んでいる一人暮らしの車いすの彼の部屋に行き、介護ボランティア:。これは40年ほど前の私の姿です。

一人暮らしの彼は元清瀬療護園の居住者でしたので、彼と一緒に清瀬療護園を頻りに訪問しました。次第に私は清瀬療護園の利用者さんたちと親しくなり、一緒に買い物や食事、西武球場や東京ドームへ野球観戦に行くようになりました。さらに交流が活発になり、秋田県の田代湖への泊りがけの旅行や、3泊4日の九州一周旅行:。(九州へは新幹線、飛行機、船舶、レンタカーを利用したの豪華な旅!)にも行きました。長崎空港では歌手の故西城秀樹さんから利用者さんの財布にサインを頂きました。

利用者さんとは外出した時には通常では体験できない「東京駅ホームの地下道」「新大阪駅の地下道」等の通行等、貴重な体験をさせて頂きました。

当時、いろいろな障害者団体300人

ほどが参加して、1日列車を借りきっての旅行「ひまわり列車」にも清瀬療護園の団体として何度も参加しました。

清瀬療護園の利用者さんは個性的な方が多く、障害者運動に熱心な方と一緒に、全国から200人以上の車いすの人たちが集結する「新宿駅周辺でのデモ行進」にも行きました。それはとても壮観でした。旧厚生省や運輸省への陳情にも同行しました。

利用者さんの中には国会議員選挙に立候補された方や、ニュージーランドで(日本では車いすの人は許可されていない)バンジージャンプをやったりスカイダイビングに挑戦したりする冒険家もいて、圧倒されました。

一方、職員の方も特異な方が多く、プロのシンガーソングライターとしてテレビ出演されていた方、大学教授に転職された方、元特攻隊員で「戦争があと1週間延びていたら俺はこの世にいなかった」と語ってくれた方:、清瀬療護園の皆様には貴重な体験や素晴らしい思い出をたくさん頂き、ありがとうございました。

10年ぶりに戻った清瀬療護園は建物も体制もすっかり様変わりしていました。懐かしい人たちに再会し、その人たちと今は「健康麻雀」:、ポン、チー、ロンと熱戦を繰り広げています。

職員紹介

小野精一

(清瀬療護園診療所医師)

(おの せいいち)

私は大学卒業後、一般外科消化器外科を専攻し、大学の医局関連病院である緑風荘病院(東村山市)の外科部長を長年勤務後、老人保健施設の施設長を経て、今回縁があり平成最後に当たる本年4月より、清瀬療護園診療所に就任いたしました。

今後は、今までの臨床経験をもとに、主に身体障害者の方々の一般診療ならびに健康管理を担当し、皆様方より厚い信頼を寄せていただけるよう努力していきたいと思っております。

これからも、利用者様のQOL(人生の充実度)の向上に重点を置き、病状の安定や快適な生



活の追及を目指すため、日々のリハビリテーション等にも取り組み、より良い生活支援を提供していけるよう仕事に向き合っています。

今後とも、よろしくお願い致します。

小坂しほ(栄養調理)

(こさか しほ)

前職では、急性期の病院で栄養指導を中心に仕事をしてきました。食事介助や食事形態の変更にも携わっていたため、咀嚼嚥下についてもっと勉強し、それを献立に生かせるようになりたいと思ひ、清瀬療護園で仕事をさせて頂いたことになりました。施設と病院では同じ栄養士でも仕事内容に違いがあり、戸惑う部分もありますが、より楽しみにしたいだけける食事作りを目指していきたいと思ひます。

